

県段階の「生産の目安」について

(令和5年11月30日 山形県農業再生協議会臨時総会にて決定)

数量 : 316,100 t 面積 : 52,860ha*

※面積は、数量を本県の5年産水稻年平均収量
598 kg/10a で換算したもの

- 政府は、令和6年産の主食用米等生産量見通しを5年産米と同水準の669万トンと設定した。
- 県段階の「生産の目安」は、政府が提供する生産量見通しを基に、全国の需要実績に占める県産米のシェアを乗じた数量を基本としており、この算定方法を用いた場合、令和6年産米の「生産の目安」は5年産米の目安と比較して増加する。
 $669 \text{ 万トン} \times 4.78\% \approx 319,700 \text{ トン}$ (前年目安比+3,600トン)
※過去6年中、最大と最小を除く4年分の平均
- 民間在庫量が多い場合には、上記の算定方法で算出された数量から一定量を減算する等の調整をしてきたが、在庫量の減少など需給状況が改善しており、目安を減らす状況ではない。
- 一方で、目安を増やすことについて、市町村等からは、これまで農家への作付面積の配分を減少させてきた中で、一時的な配分の増加によって生産現場が混乱することへの懸念が示されている。
- このため、令和6年産米の「生産の目安」については、5年産米の目安と同数の316,100トンとする。